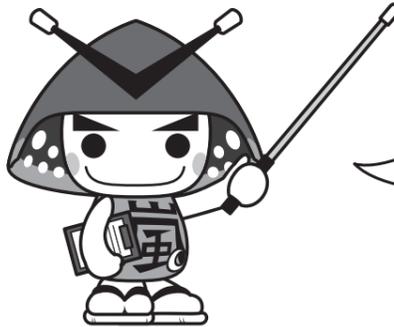


## → なんでこんなに少ないのかな

国から交付されるお金が少なくなったり、医療や福祉関係の支出が増え続けたりと、収入は増えないけど、支出は増えていくという状況なんだ。  
この状況を改善するために、近年嵐山町は色々なことにお金を使ってきた。このため直近4年間のうち3年間の収支が赤字。その赤字を補填するため貯金（財政調整基金）を取り崩したんだ。



## → 町の貯金（財政調整基金）が少ないと何がいけないの



町の貯金（財政調整基金）は、大規模災害の発生や大幅な収入（税など）の減少などがあつたときに使うためのもの。だから蓄えがないと予想外の事態が起きたときに対応ができなくなってしまうんだよ。

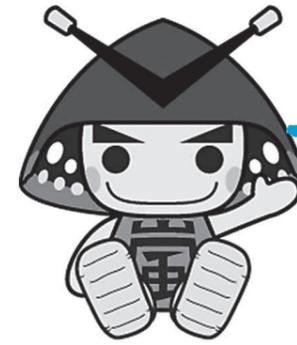
## これからはどんなことが必要なの



今、必要なのは

- ① 増え続ける支出（歳出）を見直すこと
- ② 安定した収入（歳入）を得るようにすること

そうすれば貯金（財政調整基金）も増えて不測の事態にも備えられる。  
皆さんにとって、より良い町になるよう苦しい財政状況の中でも知恵を絞り、工夫を凝らし、嵐山町は仕事をしていくよ。



## みんなは知ってる？ 町の財政

突然だけど、みんなは今嵐山町にどのくらい貯金があるか知ってる？

**正解は約2億4,305万円**

金額だけ見てもピンとこないかもしれないけど、この金額は町の一般的な収入に対する貯金の割合で



**埼玉県内の市町村で一番少ない**んだ。

財政調整基金比率は10~15%程度が適正で嵐山町にとっては**5億円**程度の貯金額が必要とされているんだ。

ちなみに直近10年間の貯金（財政調整基金）はこうなっているよ。

**嵐丸メモ**  
ちなみに町の貯金のことを「財政調整基金」といって、町の一般的な収入に対する貯金の割合のことを「財政調整基金比率」というよ。



グラフを見るとどんどん貯金（財政調整基金）が減っていることがわかるね。

